

文京区自転車シェアリング事業実証実験の実施状況について

平成29年1月に開始した文京区自転車シェアリング事業実証実験は、開始から1年が経過し、現在、千代田・中央・港区等、8区との広域相互利用を行っている。これまで、サイクルポートの整備や自転車等設備の拡充を進めてきたが、この度、一定期間事業展開した実証実験について、事業規模や利用状況、課題等の調査結果がまとまったので報告する。

1 文京区の実施状況（平成30年3月末現在）

（1）利用状況

- ・ 規模 自転車 500 台、サイクルポート 42 箇所
- ・ 会員登録 7,730 名（一回：7,279 名、月額：412 名、法人：39 名）
- ・ 利用回数 18,391 回（平成 30 年 3 月）
- ・ 回転率 1.19 回/台日（平成 30 年 3 月）
- ・ 移動パターン 区内移動 35.2%、文京区→他区移動 31.3%、他区→文京区移動 33.5%
(平成 29 年 1 月～8 月)
- ・ ポートカバー面積 約 7.1 km²（カバー状況 区全体面積の 62.8%）

※ サイクルポートの半径 300m の円を「ポートカバー面積」と定義

（2）課題

- ① サイクルポートの拡充等（利便性の高いサービスの提供）
 - ・ ポート空白地の解消
 - ・ ポート規模の拡充
- ② 事業の評価・分析
 - ・ 導入目的に対する評価（環境負荷軽減、放置自転車対策など）
 - ・ 運営事業者の収支状況等の分析
 - ・ 利用者の交通行動や意識変化等の分析

2 広域連携の実施状況（平成30年3月末現在）

（1）利用状況

- ・ 規模 自転車 5,150 台、サイクルポート 382 箇所
- ・ 会員登録 218,394 名（一回：205,726 名、月額：10,385 名、法人：2,283 名）
- ・ 利用回数 393,012 回（平成 30 年 3 月）
- ・ 回転率 2.46 回/台日（平成 30 年 3 月）

(2) 課題

- ①自転車の運用台数やポート分布のあり方
- ②サービス水準の設定
- ③各区と運営事業者の役割分担
- ④運営事業者の選定方法

3 今後のスケジュール

- 平成30年 4月～ 文京区自転車シェアリング事業検討会による検討（継続）
広域連携区との協議・調整（継続）
- 6月～ 平成30年度文京区自転車シェアリング事業実証実験調査
- 平成32年 4月 本格実施（予定）